

INFORMATION

「日経ビジネスクリエーション塾 第1回セミナー」を開催

日本経済新聞社との共催によるシンポジウム「日経ビジネスクリエーション塾」が、10月14日(金)札幌市内のホテルで開催されました。これは、日本経済新聞創刊130年記念事業として、全国の6~8大学との共催で各地で開催する企画です。第1回目の今回は、「地域と大学との連携」をテーマに、本学卒業生である㈱サンブリッジ取締役(元日本オラル代表取締役会長)の佐野力氏、東京大学教授高橋伸夫氏、京都大学教授橋本俊詔氏、㈱ヒューマン・キャ

ピタル・マネジメント社長の土井尚人氏をパネリストに招き、本学山本副学長らと、基調講演

やパネルディスカッションを行いました。大学と地域連携の在り方について、貴重な提言と活発な意見交換が行われ、企業人をはじめ約250人の参加者は熱心に聞き入っていました。

なお、このセミナーの内容は、11月4日の日本経済新聞全国版に掲載されました。



平成18年度入学試験日程のお知らせ

商学部(昼間コース・夜間主コース)

選抜区分	コース	出願期間	選抜期日	合格発表
推薦入学	夜間主	17.11.1(火) ~11.9(水)	17.11.19(土)	17.12.1(木)
社会人特別選抜				
推薦入学	昼間	18.1.19(木) ~1.27(金)	センター試験と書類審査	18.2.10(金)
帰国子女・中国引揚者等子女・私費外国人留学生特別選抜			18.2.25(土)	18.2.22(水)
専門高校・総合学科卒業生選抜	昼間	18.1.30(月) ~2.7(火)	18.2.25(土)	18.3. 6(月)
一般選抜(前期日程)	昼間・夜間主			
一般選抜(後期日程)	昼間			

大学院商学研究科(アントレプレナーシップ専攻・現代商学専攻)

選抜区分	出願期間	選抜期日	合格発表
アントレプレナーシップ専攻(組織推薦)	17.11.16(水) ~11.30(水)	17.12.18(日)	17.12.22(木)
アントレプレナーシップ専攻・現代商学専攻(後期)	18.1.5(木) ~1.19(木)	18.2.11(土) ~2.12(日)	18. 2.17(金)

前期入学試験は終了しました。

学生募集要項の請求方法など
入学試験に関するお問い合わせは、次の担当までお願いします。

入試課入学試験係
TEL : 0134-27-5254
E-mail : nyushi@office.otaru-uc.ac.jp

商学部入学試験に関する情報 : <http://www.otaru-uc.ac.jp/hnyu1/>
アントレプレナーシップ専攻に関する情報 : <http://www.otaru-uc.ac.jp/master/bs/index.htm>
現代商学専攻に関する情報 : <http://www.otaru-uc.ac.jp/master/gs/gs.html>

札幌医科大学、北海道東海大学と「文理融合による連携協力協定」を締結

本学は10月1日(土)、札幌医科大学と北海道東海大学のそれぞれの大学間で、文理融合による連携活動に関する包括的協力協定を締結しました。

国立大学と公立大学、国立大学と私立大学という設置形態を超えた文理融合型連携協力は全国的にも例が少なく、それぞれの大学の特質・機能・役割がシナジー効果を発揮しながら、豊かで活力ある社会への発展に貢献することが期待されます



短期留学プログラム入学式が行われました

10月3日(月)、「小樽商科大学短期留学プログラム(YOUC)」特別聴講学生の入学式が行われました。

短期留学プログラムは、本学と外国の大学との学生交換協定に基づいて受け入れた留学生に対し、原則として英語による授業を行うプログラムで、平成11年度から実施しているものです。

今回入学した留学生は、協定大学(忠南大学、東北財経大学、蘭州大学、ウエスタンミシガン大学、サウスダコタ大学、ミュンヘン大学、オタゴ大学、ピフrostビジネススクール、シェフィールド大学、ウィーン経済大学、ブルゴス大学、パイロイト大学、ベルリン経済大学、ポール・セザンヌ大学、ロシア極東国立総合大学)からの23名です。

入学式では、秋山学長が英語で、「さまざまな人々と積極的に触れ合い有意義な一年間を送ってほしい」との式辞を述べ、続いて江口国際交流センター長から歓迎の挨拶の後、協定大学別の留学生紹介があり、式是和やかな雰囲気の中に終了しました。

入学式終了後、オリエンテーションが行われ、今後の留學生活や授業等について説明を受けた後、キャンパスツアーが行われ、入学した留學生は、これからはじまる大学生活に思いを巡らせていました。

編集後記

早いもので今年も残すところ僅かとなりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。さて、今号では「高商石炭」と「言語センター」の二つに焦点をあて、実践教育と語学教育を重視してきた本学の特色を特集してみました。記事内容は編集関係者による努力の証でもあります。御意見・御批判頂ければ幸いです。(Y.T)

編集スタッフ 田野有一、中 善宏、鈴木将史

【ご意見・ご要望のお願い】

広報委員会では、読者の皆様のご意見・ご要望をもとに、より良い広報誌を作成する所存です。取り上げてほしい話題、質問したいことなど何でも結構です。下記にお寄せください。
E-mail : kouhou@office.otaru-uc.ac.jp FAX : 0134-27-5213

URL : <http://www.otaru-uc.ac.jp>